

教科(科目)	公民(公共)	単位数	2単位	年次(コース)	2年次
使用教科書	清水書院『私たちの公共』				
副教材等	清水書院『私たちの公共ワークノート』、帝国書院『ライブ公共2024』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成する。</p> <p>①自ら学び、自ら考え、主体的に物事に取り組む力を育成します。</p> <p>②様々な人とコミュニケーションを図り、自他を理解・尊重する心を育成します。</p> <p>③自己の進路希望を実現できる確かな学力と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。</p> <p>①多様な選択科目を設定し、得意分野の力を伸ばし、主体的に学ぶ意欲を高める授業を展開します。</p> <p>②積極的なICTの活用や探究的な学びをとおして、思考力、自己表現力、発想力を育む授業を展開します。</p> <p>③学校行事、部活動、生徒会活動や外部と連携した学習活動をとおして、自己や他者を理解したり、社会的な課題や問題を知る機会を充実させたりします。</p>

2 学習目標

<p>人間と社会の在り方についての各自の見方・考え方を動員して現代の諸課題を追究し解決しようと努力する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる力を育むことを目標とし、それによって平和的で民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民としての資質・能力が育成されることを期して学習をする。</p> <p>(1) 現代の諸課題を考察する手掛かりとなる概念や理論について理解し、その上で、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得することを目標とする。</p> <p>(2) 現実の社会の諸課題の解決に向けて事実をもとに多面的に考察し公正に判断する力や、人々間の合意形成や自身の社会参画を想定した議論ができる力がつくことを目標とする。</p> <p>(3) よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、多面的な考察や深い理解を通じて自国だけでなく各国の人々とも協力し合うことの大切さに気付くことを目標とする。</p>
--

3 指導の重点

<p>① 憲法や政治制度、経済の仕組みについての基礎的な知識の習得を目指します。</p> <p>② 習得した知識を活用して自分なりに考察し、議論を通じて意見をまとめることを目指します。</p> <p>③ 現代の諸課題を解決するために各国の人々と協力していく方法を自分なりに考えることを目指します。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を考察する手掛かりとなる概念や理論について理解し、その上で、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実の社会の諸課題の解決に向けて事実をもとに多面的に考察し、自分なりに公正に判断し、人々間の合意形成や自身の社会参画を想定して自分の意見をまとめている。	よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。多面的な考察や深い理解を通じて自国だけでなく各国の人々とも協力していく方法を自分なりに考えようとしている。

5 評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	定期考査、提出物	定期考査、提出物、授業態度	提出物、授業態度、振り返りシートなど

6 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	第1部 公共の扉 第1章 社会で生きるとのこと 第2章 みんなが幸せな社会とは? (4時間)	○自分とは何かについて考察する。 ・自分たちを取り巻く社会の捉え方、文化、青年期、多様性、宗教について知識を得る。 ・個人の幸福、自由、正義、公正など、世界の先人たちの判断基準について知識を得る。	a b c	提出物、授業態度
5 6	第3章 公共的な空間における基本原理 (6時間)	○個人の尊重と政治との関係について考察する。 ・これまで必要とされてきた権利について知識を得、権利を保障するための憲法について認識する。	a b c	提出物、授業態度 これまでの内容の定期考査
6 7	第2部 よりよい社会の形成と参画 第1章 私たちの生活と法 (12時間)	○個人と法との関係について考察する。 ・法と権利について知識を得る。 ・日本国憲法の人権保障について認識する。 ・今後、新たにどのような権利が必要になるか、自分なりに考える。	a b c	提出物、授業態度
8 9	第2章 私たちの生活と政治 (12時間)	○生活と政治の関係について考察する。 ・世界の政治機構を比較する。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治、選挙、政党など、現状の政治組織について知識を得る。 ・それぞれの組織の改善すべき点を調べる。	a b c	提出物、授業態度 これまでの内容の定期考査
10	第3章 平和主義と日本 (8時間)	○平和について考察する。 ・日本の平和主義と政策についての知識。 ・世界平和について考察する。	a b c	提出物、授業態度
11 12 1	第4章 私たちの生活と経済 (16時間)	○経済の仕組みや経済学の考え方を学び、日本の経済の現状と課題について考察する。 ・市場の仕組みの理論についての知識。 ・経済の現状を学ぶ。株式会社の仕組み、国民所得について、景気変動と物価、財政の役割と課題、金融の仕組み、中央銀行、金融自由化。 ・戦後復興、高度成長、安定成長、バブル経済、中小企業、農業についての知識。 ・労働問題、社会保障についての知識。 ・日本経済の問題点について考察する。	a b c	提出物、授業態度 これまでの内容の定期考査
1 2	第5章 私たちの生活と国際社会 (9時間)	○国際関係について考える。 ・国際法、人権規約、国連、冷戦、核兵器廃絶などについて知識を得る。 ・貿易の目的、自由貿易と保護貿易の考え方。 ・外国為替、国際収支、国際経済の現状について	a b c	提出物、授業態度 これまでの内容の定期考査

		て理解する。 ・地域統合や南北問題についての知識を得る		
2 3	第3部 持続可能な社会を創る (3時間)	自分で課題を設定して調べてまとめる。 経済、情報社会、エネルギーなど。	a b c	提出物、授業態度

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題、提出物等

- ・授業ノート、ワークノート等
- ・グループワーク、視聴覚教材への課題、調べ学習課題。その活動の振り返り。

8 担当者からの一言

「公共」で学ぶ内容は、大人ならば何かしら知っている内容ばかりです。例えば、会社員であれば労働について実感として知っているだろうし、スーパーに買い物に行けば、物価の上下について実感せざるを得ないと思います。18歳から成人となる生徒の皆さんには、もしかしたら実感はないかもしれませんが、「公共」で政治や経済などを学習し、今のうちに自分なりの見方や考え方を一通り準備しておけば、その場になってからどう考えたらいいかさえ分らないという状況にはならずに対処ができるのではないのでしょうか。